

1945 年 8 月 6 日から 66 年を迎えようとしている。

当時、今後 75 年は草木も生えないと言われたものの、現在では日本有数の都市となっている。戦争が一瞬で失った多くの命は人類の過ちとして、日本の記憶、そして世界の記憶として永遠に引き継がれて行かなくてはならない。

しかし現在では、戦争を体験した世代の減少などから若者から戦争に対する記憶が離れつつある。私もその一人だったのかもしれない。今回の提案を行う上で、広島について学び、そして考えを巡らせるうちに感じたことはとても多く、戦争の実感のない私にとっての貴重な知識や記憶として今後も残り続けてゆくことであろう。広島について触れることを振り返れば、「きっかけ」が重要であることに気付く。そして、これからの世代の記憶として、広島について触れる「きっかけ」のひとつとして広島市中央公園として位置づけ、提案を行いたいと思う。



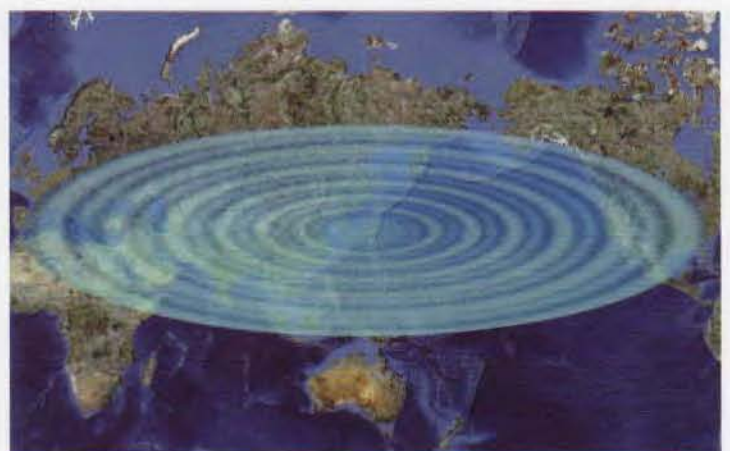
## コンセプト

### 『未来へつづく新たな広島の姿 ～発進・発信・発振～』

原爆ドームや平和記念公園などの記憶の象徴だけでなく、広島平和記念都市における恒久的な平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、市民生活の質の向上や都市のさらなる発展による広島の発進と平和都市として世界に発信し、これらの広島の力を平和の中心として波紋を形成するように発振する。そこで、未来へつづく新たな広島の姿を形成する3つの柱（ハッシン）を「発進・発信・発振」として位置づける。

現在も民族や国家、人類の争いの絶えない世界の中で、広島を中心性の再構築と魅力の形成を行い、それらを伝えることで現在も争いの続く世界に対する平和の象徴都市をつくる。

- 発進：** 広島の特徴でもある水辺空間を生かして都市の潤いの空間を創造するとともに、近接する歴史・商業・居住の地域間の中心として個々の地域と連携性のある空間とする。また、情報化都市を推進し、国際都市としての成長を図る。
- 発信：** 戦争の記憶を都市の滞在者だけではなく、情報・芸術といったメディアを用いて発信する。
- 発振：** 歴史と都市の融合によって発展した広島を平和の記憶としてだけではなく、都市の魅力を加えて日本さらには世界へ伝える。



## 広島都市圏を対象とした広域的な現状分析

### ■都市圏人口の流出

以前は中国四国地方からの転入がみられていたが現在ではそれらは減少傾向にあるとともに、圏内における若者の関東および関西圏をはじめとした都市部への流出がみられる。

### ■大型商業施設（ショッピングセンター）の郊外化

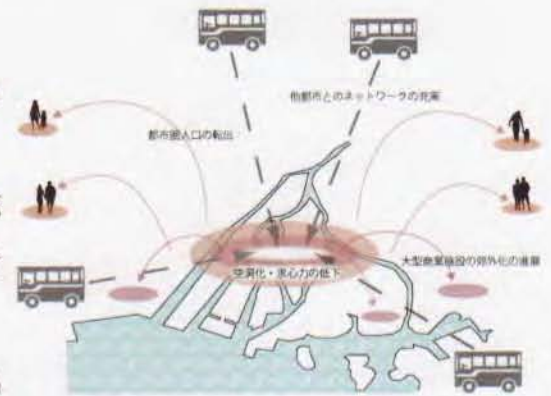
高密度に形成された都市であるものの、近年の大型商業施設の郊外化傾向の進展により、将来的な都市の空洞化や求心力の低下が懸念される。

### ■情報産業の遅れ

日本有数の自動車メーカーとその関連会社をはじめとした生産産業や卸・小売といった産業が大きな基盤となっている。しかし、将来的な必要性が確実視される情報産業をはじめとしたサービス産業の進展は関東や関西の都市部と比較して未だ少なく、若者の就業機会への影響も考えられる。

### ■交通インフラと他都市とのネットワーク

市内の道路・公共交通の利便性は高く、広島を代表する路面電車は広島の知名度につながるひとつとして認識されている。また、広島空港が中心部に比較的近いところに位置していることから歴史・文化面を目的とした外国人観光客も多い。しかし、バスによる周辺都市とのネットワーク水準は他の都市と比較して低い。



## 市立中央公園を対象とした狭域的な現状分析

### ■祈祷・商業・居住地域の3層構造

南部の原爆ドームや平和公園などの祈祷地域と東部の行政および中心商業地域、および北部の市営・県営アパートなどの居住地域の3つの地域が交ざり合う地点に位置する。

### ■景観軸と都市軸の交点

平和公園設計者の丹下健三氏が提唱した平和公園から北に抜ける祈祷の軸と広島駅から中心市街地や行政機能地域に抜ける都市の軸との交点に位置している。

### ■都市間バスネットワークの集積地

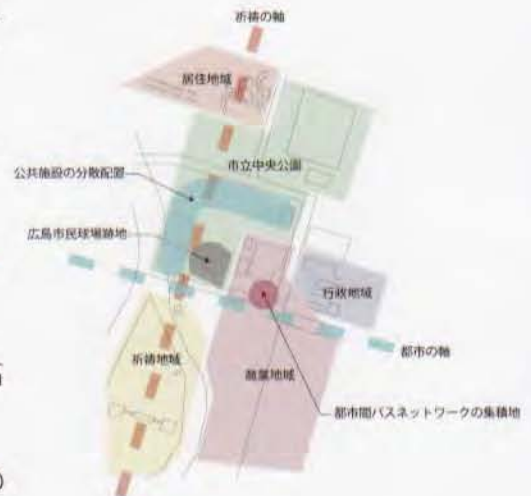
都市間高速バスターミナルが市立公園の東部約50mに位置しており、旅行観光滞在者の拠点に近接している。

### ■公園内公共施設の分散配置と老朽化

市立中央公園内には公共施設が設けられているものの、分散配置となっており高効率ではない。さらに経年経過による老朽化がみられる建物も少なくない。

### ■広島市民球場の跡地利用計画

広島の戦後復興を支え、長年に渡り市民に親しまれてきた市民球場は市立公園の中心的存在であり、今後の跡地利用計画は市民公園に重要であり、直接的影響を与えるものである。



## 現状分析を踏まえた提案

### ■祈祷・商業・居住地域による重層地域の中に広島の水辺環境を重視した憩いの場を創造

広島の風土である水辺環境をアピールすることで都市のイメージとし、都市の喧噪を緩和させる憩いの場を創造する。中央公園の周辺は祈祷・商業・居住といった地域の重層地域であることから観光客や日常利用者といった幅広い利用者を想定し、重層地域における中心地として観光客の回遊性を高め、広島の魅力の新発見を誘う。また、商業地域や行政地域におけるサラリーマンやOL、北側の県営および市営のアパート群の身近な都市公園としての機能を併せ持つ。

### ■文化公共施設の集約配置を行うことで利用性の向上と公園の統一間のあるメッセージ性を形成する

中央図書館やこども図書館、こども文化科学館や青少年センターといった文化公共施設を集約させることで、利用の効率化を図る。また、こども学習の中枢の場として、次世代を担う子供たちの成長の場として恒久の平和を創り上げる場としてのメッセージ性を形成する。

### ■市民球場跡地を音楽堂として平和のメッセージを世界に広める拠点とする

市民球場は広島の戦後復興において大きな役割を担った。人々に愛され続け、復興と発展の市民の心の支えになった部分も多いだろう。戦後から現在まで広島の平和を創りあげてきたことから、今後は広島の戦争の記憶と平和へのメッセージを世界に伝え、世界の平和を創りあげる平和音楽堂として生まれ変わる。音楽堂では、平和に対する想いをもつ国内外のアーティストのイベントを行うとともに、地域児童などによるイベントを行う場としても解放される。

### ■広大な中央公園のエリアごとを植物による緩衝領域を用いて公園内エリアごとにメリハリをつける

中央公園内の主なエリアとして文化施設や音楽堂といった活動エリア・水辺空間といった憩いのエリア・広島城といった歴史文化をエリア間の緩衝領域として緑地帯を用いて、エリアごとのメリハリをつける。また、緑地帯は公園内の利用者の回遊性を高めるとともに、水辺空間と緑地帯によって都市内における多様な自然要素をもつ公園とし、児童たちは公共施設だけでなく、身近な自然に触れることを通じて環境教育が行われる。

## ゾーニング・施設配置計画

閉ざされている河川と城のお堀の水路を開放し、せせらぎ空間を設ける。また、併せて池を設けることで、親水性の向上と災害時の水資源の確保を行う。



河川空間を利用して、広島の歴史・自然遺産である原爆ドームと宮島の船航路へのアクセス性を向上し、観光客の回遊性を向上させる。

## 主な提案施設概要

**音楽堂**… 歴史遺産である原爆ドームに対して、未来の平和を尊重する鶴の羽をモチーフとしたデザインの開閉型ドーム形状を提案する。平和音楽イベントや児童の演劇イベントや修学旅行児童の歴史学習イベントに利用する。また、音楽堂から河川に広がる自然環境エリア望めるため、イベントに利用しない際は市民が自由にくつろげる空間として利用する。

### 生産技術継承・情報メディア施設

広島が生産技術を後世に伝えるための技術継承を行う。若者の広島の文化でもある生産技術を習得できるとともに、退職者の退職後の就業の場としても機能する。さらに、広島の情報メディアの拠点を設けることで、高齢者への情報メディア学習などを行う。さらに、情報産業の企業との連携により、広島への企業誘致と若者の県内就職場所の創出を行うとともに、情報技術の発展と国際的な観光者に対応した情報技術を用いた観光サービスを提供する。そして、広島の魅力と活力を創出する。

### 芸術施設

平和を尊重するアーティストは歌手だけでなく、画家や現代アートのアーティストなども多い。美術アートは平和に對する人々の想いをカタチにして後世に残り続ける。そのため、現存の美術館に芸術施設を付加する。そこで、国内のみでなく海外旅行者やアーティストなどのための芸術創作・展示空間を提案する。時間を経ることで様々な人の想いが込められて熟成した空間となる。

## 想定する利用者像

### ■修学旅行の小学生

初めて原爆ドームを見ました。体験したことのない戦争について学んだことで、今何気なく暮らしていることがどんなに幸せなことか考えるきっかけになりました。また、中央公園から平和公園を船で遊覧し、宮島まで行きました。広島には世界的な歴史・文化緯線があるんですね。広島に来たことをきっかけに歴史の勉強をしてみようと思います。



### ■県外の音楽ファン

好きなアーティストが毎年夏に音楽堂でコンサートを開催するので楽しみにしています。また、広島に来ることと平和イベントに参加することで、戦争に対する関心も高まりました。音楽堂はバスターミナルからの非常に近いので便利です。

### ■都市圏郊外部に居住するサラリーマン・OL

仕事帰りに生産技術継承施設で退職した方々に仕事のノウハウを教えてもらっています。仕事帰りにアクセスしやすいし、アフター5の時間も有意義に使えて、様々な方とのコミュニケーションの場としても利用しています。そして、昼間のオフィスに対して自然環境がいっぱい気持ちのリラックスにもなります。



### ■外国人観光客

日本には初めて来ました。祖父を戦争で亡くしたことから原爆ドームを目的に来ましたが戦後ここまで成長した広島の姿を見て感動しました。日本の方々、広島の方々は大歓迎ですね。また、観光情報ツールは私たちのような外国人観光客には非常に便利です。もっとたくさんの世界の方々にも広島を知ってもらいたいですね。

## 市立中央公園の周辺エリアへの発展

### ■公園北側の県営および市営アパートの用途変更

県営・市営のアパートは居住者の高齢化が進んでおり、バリアフリーなどが設計時に行われておらず将来的な利用方法を検討する必要がある。戦後の住宅難と生活環境の整備に大きく貢献した建物であり、歴史的な意味も大きい。そのため、建物を変化させるのではなく、若者が利用できるように用途を変更することを提案する。

- 1) 芸術活動のアトリエスペース  
戦争の記録を残した広島で芸術活動を行うことの意味は大きい。そのような若者の芸術活動スペースとして個室を設ける。
- 2) 学生による情報ベンチャー企業の誘致  
広島は大学などの高次研究に優れているものの、大学施設の多くは郊外に位置しており、都市圏に若者の流入は少ない。そのため、学生のベンチャー企業のオフィスを取り入れ、都市圏への若者の誘致を図る。また、行政やオフィスエリアと近接している立地環境のメリットを活かせる。
- 3) 外国人のユースホステル  
欧米からの旅行者が多いが、将来的には中国などのアジアからの旅行者の増加が予測される。しかし、日本は諸外国よりも物価が高いことから、旅行者が手軽に宿泊できる施設が必要である。中心部に位置し、観光ポイントへの高いアクセス性といった立地を活かす。旅行者が増加することで街の経済に潤いを与え、広島の平和都市としての魅力を世界に伝えるきっかけとなる。
- 4) 市営高層アパートに市民農園設ける  
現在アパート中心部緑地は防犯の面などから立ち入りが禁止となっている。市民が安全で快適に過ごせる環境を形成するために、この未利用地を市民農園として、野菜などを育てる。人が利用することで安全性も高まり、アパートの環境も向上する。

### ■平和大通りへの情報企業誘致

情報サービスはますます拡大していくことが確実視されている。そのため、都市化に対応できる超広幅員道路を有する平和大通りを利用した情報関連企業を誘致し、広島の情報サービス産業を発展させる。さらに若者の地元就職の場となるとともに平和公園に近接していることから、情報サービスを用いた平和都市広島をアピールする。

